



題字 荻原田 親

No. 735

2014/6/5

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
VISIONS WORLD  
〒110-0014 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8236  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL: (086) 272-3010  
郵便番号11所  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8011  
倉敷市連島中央1-8-1 (宮地方)  
TEL: FAX: (086) 446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.biz/>  
メールアドレス  
[rizhong86@hotmail.co.jp](mailto:rizhong86@hotmail.co.jp)



## 歴史の舞台を行く江三峡下りの旅

### 「紅岩」と再会すー

#### はじめに

5月18日から23日までの6日間、日中岡山・倉敷支部主催の「歴史の舞台を行く長江三峡下りの旅」に参加した。参加者は、岡山支部の竹内理事、小林事務局長、河井理事と倉敷支部の宮地事務局長及び会員の保坂さん、東夫妻の計7人です。

87歳の竹内理事が最高齢で、67歳の河井理事が最年少で平均年齢は77歳になる。現地ガイド曹さんの年齢を考えた配慮で、ゆっくりと旅を楽しむことができました。

#### 想像以上に

#### 厳しい搭乗検査

18日。岡山空港を出発し約1時間で上海浦東空港に到着。ガイドの曹さんと合流、シャトルバスにて虹桥空港へ移動する。国内線(チベット航空)で、重慶へ出発する。搭乗手続きは、帽子、マスクをとり、靴を脱ぎ、ポケットのものすべて出し、身体検査も念入りで、かなり厳しい検査を

小林事務局長



19日。終日、重慶市内を見学。閉鎖中のため概観だけの重慶爆撃の史跡・防空壕跡、紅岩革命記念館、古い町並みが残る磁器口などを見学した。私は、「紅岩」に出会い、大衆時代に読んで、中国革命のために献身する人々に感動したことを思い出し、なつかしさとともに少し感情が高ぶった。記念に、中国語の「紅岩」を買った。帰って日本語教室で紹介した。60代後半から70代の人は「読んだことがあ

#### 大学時代を

#### 思い出す「紅岩」

これら観光には小林と東夫妻だけが参加。夜は、船長による歓迎のレセプションやショータイムを楽しむ。21日。午前中は「白帝城」(三国史、蜀の劉備死去に際し、息子劉禪を諸葛孔明に託した)劉備託孤の舞台の上陸観光。80歳代の3人は、カゴのついで登る。午後、断崖絶壁が目の前に迫る迫力ある景観、幻想的な「巫峡」そして透明度の高い長江の支流を昔ながらの船で遊覧した。船内にいる時は、長江兩岸の山々の溪谷美を楽しんだ。

#### 長江三峡下り

20日。バイキング形式の朝食を済ませ、豊都鬼城(閻魔王や冥界への入り口)への上陸観光。午後、石宝寨(清代に建設された断崖絶壁の木造楼閣)。高さ56m120段の階段を上る。(への上陸観光。)

#### 三峡ダム見学で

#### ハッピーング

22日。朝食後、欧米、インド、日本と国際色豊かな、乗り合わせとなったバスで、世界最大の水力発電ダム「三峡ダム」の見学に出かけた。途中の道路で車が渋滞に会い、50分ほど停まった。原因は、道路に地元の人々が直径1mくらいのドラム缶のようなものを置いて遮断していた。乗客は、バスを降りて歩き、別のバスに乗り換えて見学に行った。展望台から東西南北を見渡



三峡下りのガイドさん(中央の女性)と一同  
左から小林、東、河井、保坂、東、竹内、宮地

したが、そのスケールの大きさにおどろいた。  
**高速鉄道**  
で武漢へ

船内で昼食をとり下船し、宜昌東駅へ行き、2時40分の高速鉄道II和階(中国の新幹線)にて、武漢へ向かった。1時間位の熟睡後、車窓を見るのどかな田園風景が広がっている。農家の人が牛を使って田を耕していた。なぜかホツとした気分になった。重慶で乱立する高層住宅を見たせいでと思う。約2時間、武漢に到着し、辛亥革命博物館の外観を見学した。

孫文像の写真を撮った。ここで、中国の子供と東さんとの間で、ささやかな日中友好があった。(次号で紹介)この日は空港近くのホテルで泊まる。

(2ページつづく)

ニホン人は、なぜ日本語をおしえることができるのか?  
今回はお休みします。

(1ページよりつづき)

## 国際都市

### 上海で和食

23日。早朝に武漢天河国際空港を出発し、9時過ぎに上海浦東空港に到着。夕方の5時40分までのあいだ、上海市内を地下鉄とモノレールを利用して散策した。

1983年6月以来の上海に、まずおどろいた。31年前の上海は、自転車と人でいっぱい

の町でした。当時、食事をした外国人専用のホテル以外に、近代的な建物はあまりなかった。今回、自転車は一台も見かけなかった。洗練された清潔感あふれる国際的な都市になっていた。テレビ塔などのある 上海国金中心商

場「付近は、とくにすばらしい。その和食レストランで日本食を美味しくいただいた。店内では、中国人が「すし」など日本料理を食べながら談笑している。地下鉄では、若者が席を譲ってくれた。上海浦東空港の出発が、約50分遅れたが、岡山空港に到着し、無事家に帰った。

### おわりに

今号では、日程順に旅行先の紹介をした。次号から参加者の感想を載せたい。ささやか交流の様子も紹介したい。楽しみにしてください。

## 岡山県華僑華人総会 設立三十五周年記念大会

4月26日、華僑華人総会の設立三十五周年が、アークホテル岡山で開催され、友好団体の代表をはじめ、行政・政党・教育関係者など約80人が参加しました。

劉勝徳会長は、当初280人だった県内の同胞も、現在は958人に増えた。私たちの会は、同胞に奉仕するのが目的です。とくに、夢と希望をもつて来日した実習生・留学生には、その実現のために彼

## 「桜」と「松代大本営象山地下壕」

ちょうど、桜前線が岡山を過ぎ関東地方へと北上していた、4月13日から2泊3日で行方好きのおばさん達4人で信州春の旅に出かけてきました。日程の中には、安曇野のいわさきちひろ美術館と松代の象山地下壕を入れました。松代市の大本営地下壕工事跡は象山という小高い丘のような山の中にあつて、知らなければ、通り過ぎてしまうような、目立たない場所にひっそり

ハビリの取り組みについて話した。その後、懇親会となり参加者は名刺交換をしながら歓談しました。

### たんぽぽのように友好の種をまきたい!

4月27日は、同所で、日本語弁論大会とカラオケ大会が、それぞれ10人の参加者で開かれました。弁論大会で、長岡県住に住んでいる後藤さんに会いました。彼女は、華僑華人総会との絆」と題して、祖母が中国残留婦人で18歳の時に来日し、25年になる。」と話した。昨年生活面でたいへん困ったことがあり、劉会長や総会の人々に大変お世話になった。」と感謝のことばを述べ、華僑総会の大切さを強調しました。

特別記念講演は、在日華僑三世の陳隆明さん(兵庫県立リハビリテーション中央病院)が「ロボット」技術が切り開くリハビリテーションの未来!」と題して、先進医療分野の

りと在りました。しかし、地域のボランティアでガイドをしてくださっている方の話を聞けば、太平洋戦争の末期、敗戦が目に見えていた時期に極秘の内に当時のお金で2億円という巨額な費用をつぎ込み、空襲を受けても安全な日本が一番固い岩盤を持つこの地域を選び、述べ300万人もの人を動員していることがわかったのです。

そして、ここでも、7000人の半の鳥取大学の留学生張雨薇さんの 平和の種を運ぶ風になつて」と題する弁論です。内容は、こどものころから日本軍の中国侵略戦争の話を聞いて大きくなった。日本語を勉強したいと言ったら反対された。そんな状況で日本に留学したいと思つたのは、日本人の日本語教師の次のような話です。

中国の人々は、侵略者の子である中国残留孤児を育ててくれた。すばらしい人々です。

もの朝鮮人が労働に駆り出されて、名前も明かさないとまひつそりと亡くなつていくと聞いて胸がいたみました。今では見学入口付近に朝鮮人犠牲者追悼平和記念碑がひっそりと佇んでいました。

私達は次の日に日本で一番の桜の名所と言われている高遠公園の素晴らしい桜群を見ることができましたが、先の戦争で桜のように散つていった若者の事を思うとあんな時代にはしてはならないと改めて思いました。 稲葉泰子



小林事務局長と後藤さん

す。何とか恩返しをしたいと思ひ、中国で日本語を教えている。」との話を聞いたからです。彼女は、日本に来て広島平和記念館を訪れたり、実際に日々日本人と交流するなかで、マスコミなどの情報を鵜呑みにせず、自分の目で真実を



小林事務局長と高杉さん

知ることが大切であると語つた。同じアジアの隣人(友人)として、心を開くことが大切で

す。たんぽぽ」の花のようにどこへでも飛んでいき、そこで種をまき花を咲かせる。私もたんぽぽのように、肌で感じた日本のことを中国の人々に伝え、両国の友好の種をまきたい」と結んだ。

次回(6月11日)の新聞送付作業は、6月11日(水)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

稲葉 泰子  
小林 和子  
内井 垣三  
竹坪 三



劉勝徳会長